

2006～2010年度 中期経営構想の総括

2011年5月2日

四国電力株式会社

1. 中期経営構想 数値目標の達成状況

- ◇ 中期経営構想（2006～2010年度）の数値目標の達成状況については、以下のとおり。
 - ・ R O A： 5年平均の実績は3.8%となり、目標を達成できなかった。これは、2007年度から実施された減価償却制度の変更影響（▲0.2%）によるものである。
 - ・ 自己資本比率： 各年度末の実績は25.4～27.1%となり、目標の25～30%の範囲内となった。
 - ・ 電力販売拡大： 5年間の累計目標である10億kWhを達成した。
 - ・ キャッシュフロー： 5年間で7,413億円となり、目標の7,300億円以上を上回った。また、戦略配分キャッシュフローについても3,471億円となり、目標の3,000億円を上回った。

	2006～2010年度	
	数値目標（連結）	実績
ROA [総資産営業利益率]	平均 4.0%以上	平均 3.8% (4.0% ^{※1})
自己資本比率	25～30%	各年度末 25.4～27.1%
電力販売拡大	10億kWh	10.1億kWh
キャッシュフロー	7,300億円以上	7,413億円
戦略配分キャッシュフロー ^{※2}	3,000億円以上	3,471億円

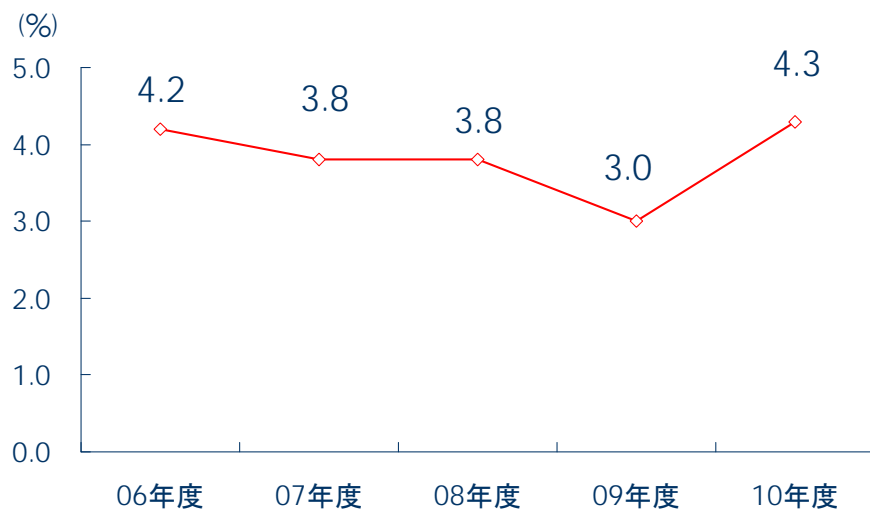
※1. () は、2007年度の減価償却制度の変更影響がなかった場合

2. 戦略配分キャッシュフロー = キャッシュフロー - 維持更新投資 - 有利子負債削減

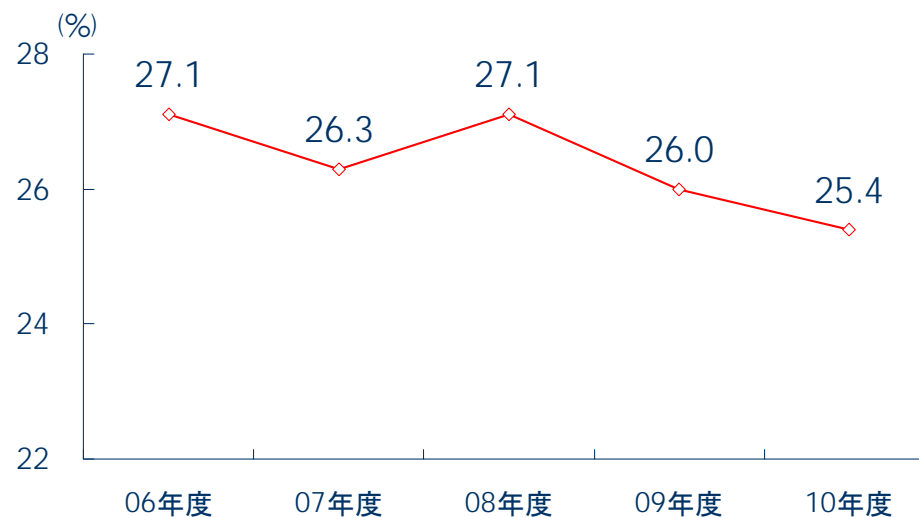
2. ROA、自己資本比率

	目 標	
ROA (連結) [総資産営業利益率]	2006~2010年度平均で 4.0 % 以上	2010年度実績 4.3% (5年間平均3.8%)
自己資本比率 (連結)	2010年度までの各年度末において 25 ~ 30 %	25.4%

ROAの推移



自己資本比率の推移

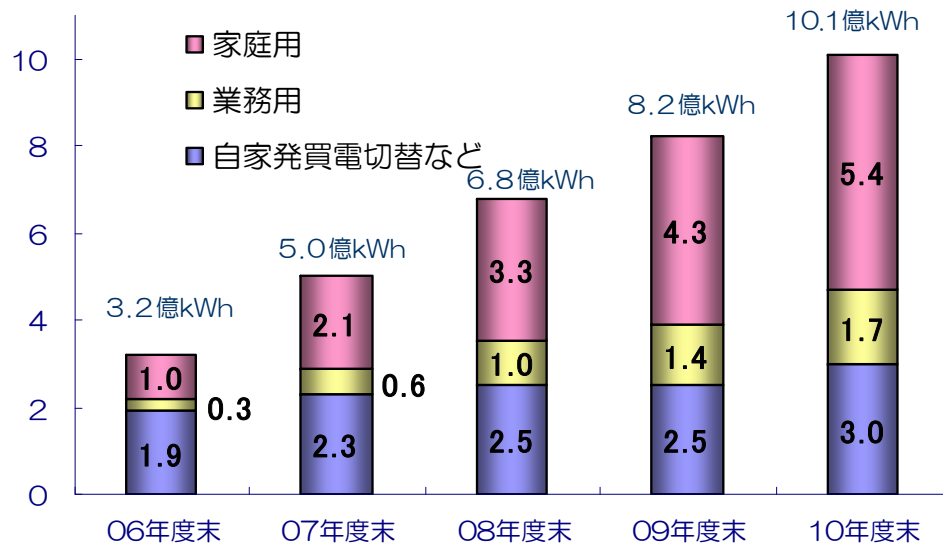


3. 電力販売拡大

	目 標
電力販売拡大	2006~2010年度の 5年間で <u>10億kWh</u>

2006~2010年度累計実績 ()内は 目標進捗率		
10.1億kWh (101%)		
内 訳	家庭用電化	5.4億kWh
	業務用電化	1.7億kWh
	自家発の買電切替など	3.0億kWh

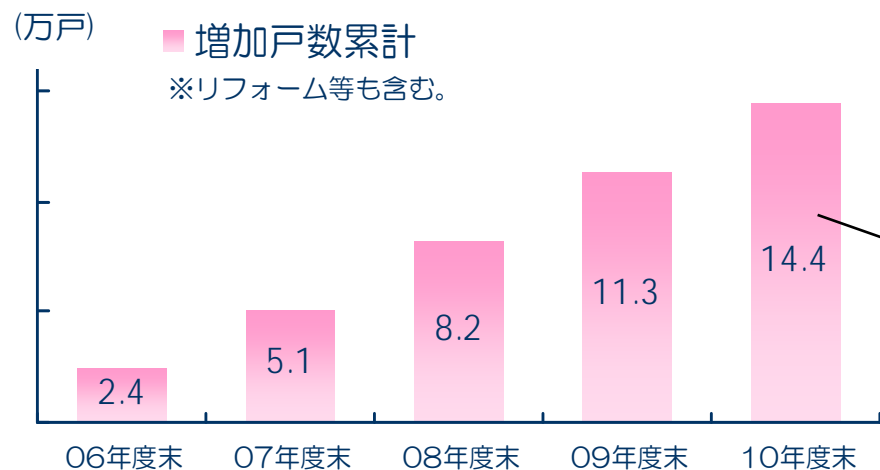
販売拡大 累計実績の推移
(億kWh)



〈内訳〉2010年度実績		
1.9億kWh (19%)		
内 訳	家庭用電化	1.1億kWh
	業務用電化	0.3億kWh
	自家発の買電切替など	0.5億kWh

3. 電力販売拡大（電化住宅採用戸数・業務用電化開発容量）

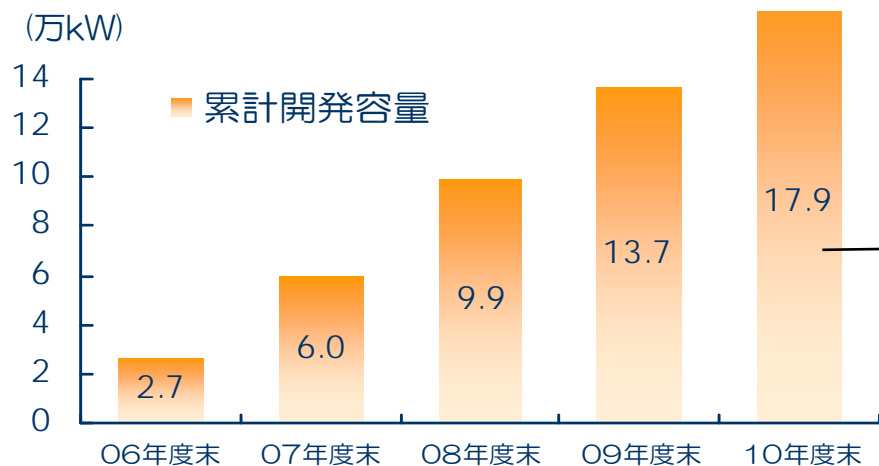
電化住宅採用戸数



〈目標〉 2006～2010年度の5年間で
10万戸の増加を目指す

2006～2010年度累計実績
14.4万戸 増加
(うち、2010年度は3.1万戸増加)

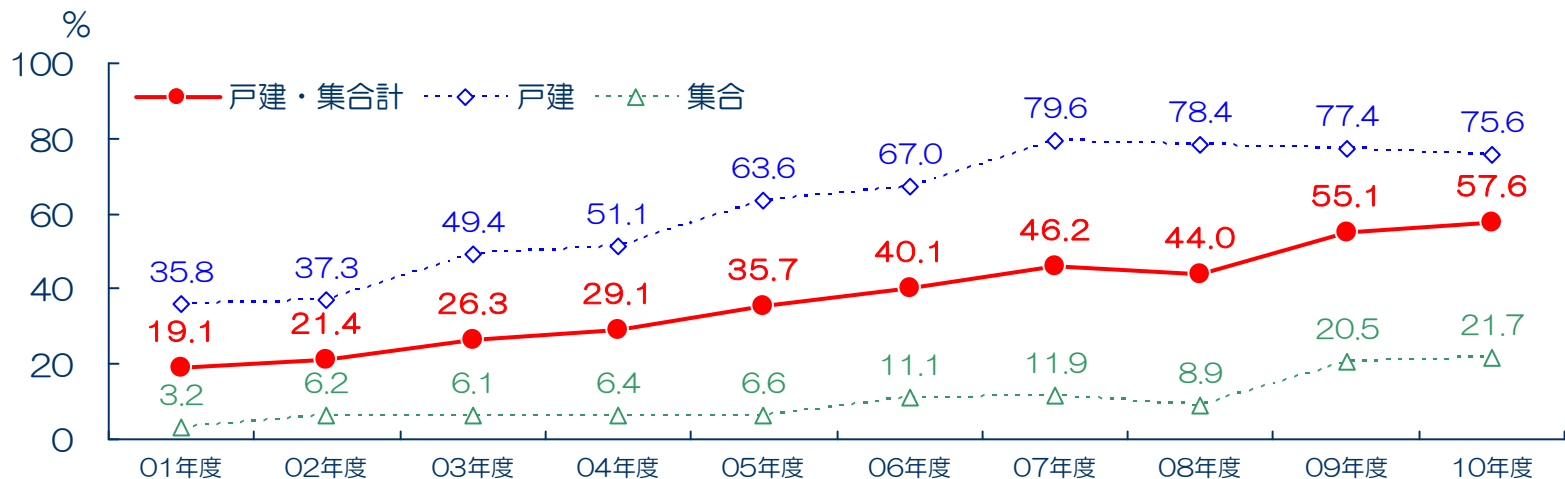
業務用電化開発容量



〈目標〉 2006～2010年度の5年間で
10万kWの増加を目指す

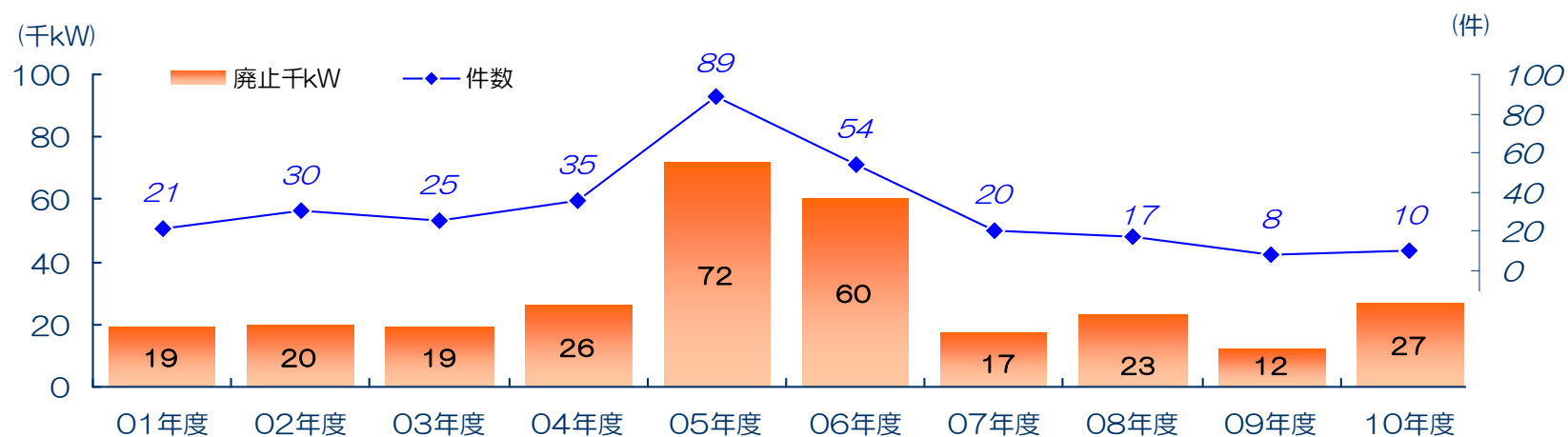
2006～2010年度累計実績
17.9万kW 増加
(うち、2010年度は4.2万kW増加)

図1. 新設住宅着工戸数に対する電化住宅比率の推移

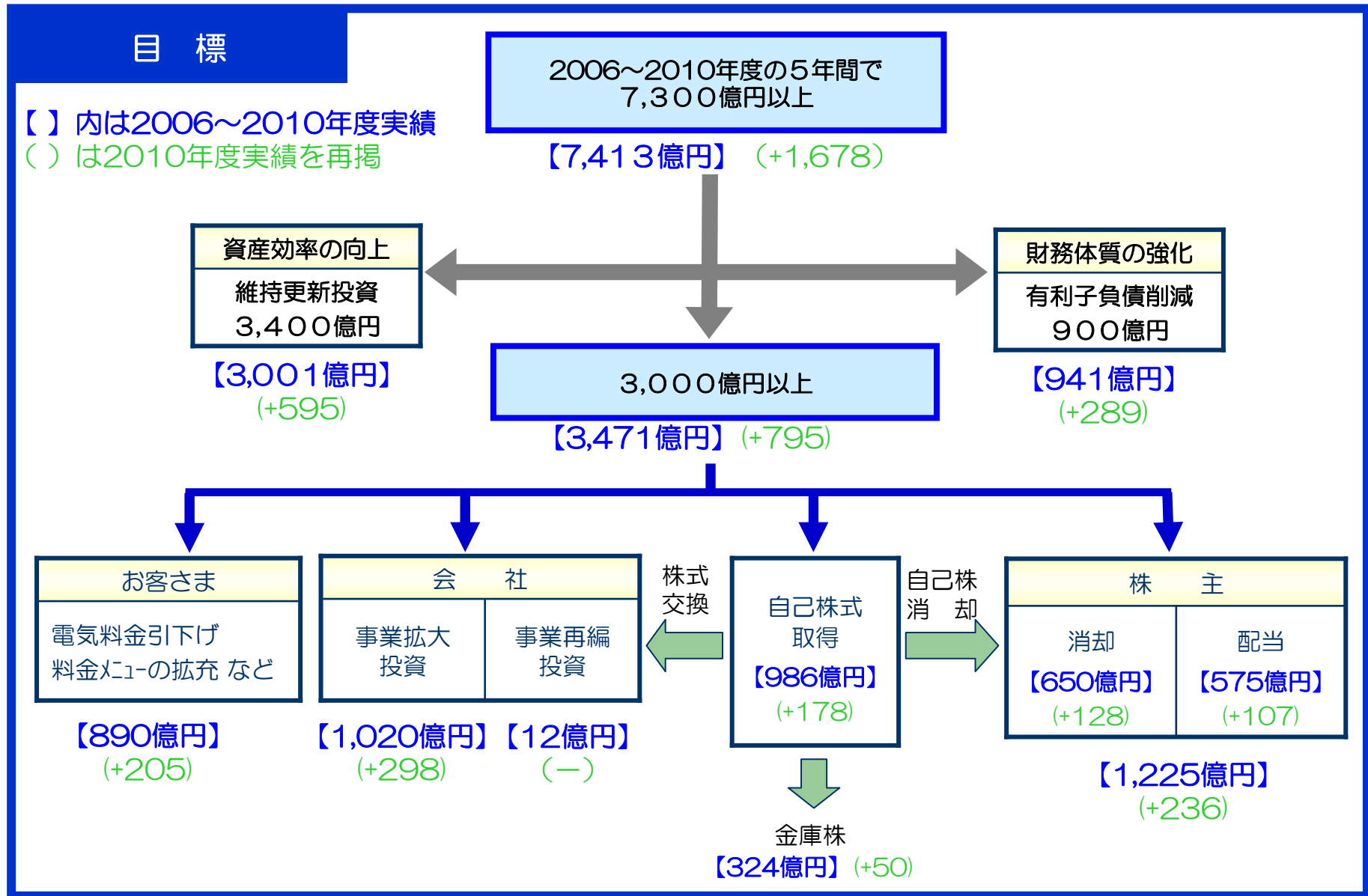


注：電化住宅比率は、電化住宅の竣工戸数を新設住宅着工戸数（国土交通省総合政策局発表の数値）で除したものだ。10年度は2011年2月末時点

図2. 自家発電止の状況



4. キャッシュフロー



おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、目標等、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要素により、記載されている見通し等とは異なる場合があります。ご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、競争状況、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。

四国電力株式会社 経営企画部 企画グループ E-mail : ir@yonden.co.jp



四国電力株式会社

<http://www.yonden.co.jp/>